

# メタバースにおけるバーチャルな教育空間の活用検討事業

学びの改革支援課

教育政策課

心の支援課

生涯学習課

## 1 事業目的

第4次長野県教育振興基本計画に示した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、多様な児童生徒の新たな学びの場の創出につなげるため、様々な角度から、メタバース（仮想空間）の教育的活用について検討する。

## 2 メタバースの教育的利用で想定されるもの

- 仮想空間での対話や疑似体験により、従来の教室やオンライン学習プラットフォームよりも多様な体験や交流を図る
- 地理的な境界を乗り越えて教育を提供でき、教育の機会がより多くの人々に提供され、社会的な平等が促進される
- 自分にあった居場所で自分のペースで学べる（不登校支援）
- 仮想的なビジネスや社会シミュレーション、コミュニケーション、問題解決などのスキルを養い、将来のキャリアに備えるための実践的な経験を積む

## 3 現状・課題

- 教育におけるメタバース活用については、不登校支援として活用していく自治体もみられる。
- 誰を対象に、どのような場面で活用することで教育的価値が見いだせるか、有識者を交えて検討することが必要

## 4 事業内容

- 有識者を含めた検討会を開催（3回）し、メタバースの教育的活用について、その利点と課題について幅広く検討

## 5 令和6年度予算額 19万4千円